

石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館整備基本計画(案)について

1 基本計画(案)の概要

(1) 基本理念

ア 石川啄木記念館の基本理念

「称える」「伝える」「繋げる」を柱にし、「もりおか」が生んだ文学者・石川啄木の功績を顕彰，発信し，施設を核とした人々の交流・回遊を促す。

イ 玉山歴史民俗資料館の基本理念

「まもる」「みがく」「つくる」を柱にし、「玉山」の歴史や先人たちの暮らしに出会い，学び，触れ合うなかで，郷土への愛着を育む。

ウ めざす姿

性格の異なる2施設が持つ歴史を大切にするとともに，それぞれの個性を十分に発揮し，道の駅との連携を図りながら，「石川啄木の魅力を国内外に発信し，ふるさとの歴史を継承する賑わいあふれる拠点」となる施設の整備を目指す。

(2) 施設整備計画

ア 基本方針

現在の石川啄木記念館の建物を生かしながら，隣接して増築棟を整備し，石川啄木記念館と玉山歴史民俗資料館の複合施設とする。

イ 整備予定地

現石川啄木記念館敷地内（渋民地内）

ウ 全体配置計画

(ア) 現石川啄木記念館を大規模改修し，隣接して別棟を増築整備する。

(イ) 別棟の増築により減少する中庭の面積を確保するため，現在の景観に配慮しながら可能な限り中庭を拡大し，再整備を行う。

エ 施設規模

延床面積 約 1,000㎡（内訳：大規模改修 約 560㎡，増築 約 440㎡）

オ 事業費概算見積額

約 8 億円（消費税等10%込み）

(3) 管理運営計画

ア 運営の基本方針

性格の異なる2施設の歴史や特性を踏まえ，互いに連携を図りながら施設運営を行う。

イ 運営手法

指定管理者（民営）方式を想定する。

ウ 運営組織

施設の管理運営の根幹を担う館長，学芸員，文学体験や玉山地域での歴史体験，地域学習へと誘う職員を適切に配置することとし，館長を含め7名程度を想定する。

(4) 今後のスケジュール

- ア 整備スケジュール
 - 令和2年度 基本計画策定
 - 令和3年度 建築・展示基本設計
 - 令和4年度 建築・展示実施設計
 - 令和5年度 建築工事等
 - 令和6年度 開館（供用開始）
- イ 財源
 - 合併特例債の活用

2 経緯

(1) 平成17年度

「歴史民俗資料館建設事業（玉山）」が「盛岡市・玉山村新市建設計画」に位置付けられる。

(2) 平成25年度

財団法人石川啄木記念館が解散し、記念館施設・資料等は、市に寄附される。

(3) 平成26年度

盛岡市玉山区地域協議会から市教育委員会あて意見書が提出される。

<意見書の内容（抜粋）>

昨年、市の所有となった石川啄木記念館は、手狭で企画展等の実施に支障をきたしていることなどの影響もあり、年々、入館者数が減少している状況です。

つきましては、歴史民俗資料館建設の際は、石川啄木記念館と共用のスペースや設備を設けるなど、相乗効果が発揮される有機的な施設整備を検討するよう求めます。

(4) 平成27年度

ア 盛岡市・玉山村新市建設計画（以下「新市建設計画」という。）が見直され、「歴史民俗資料館建設事業（玉山）」が「玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館整備事業（玉山）」に変更される。

(ア) 概算事業費 約8億円（消費税等8%込み）

(イ) 財源 合併特例債（活用期限は、令和6年度）

イ 教育委員会が玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館建設方針を策定

(ア) 整備場所 現在の啄木記念館前の駐車場エリア

(イ) 整備手法 新築

(ウ) 施設規模 延床面積 2,000㎡程度

ウ 盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画が策定され、玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館の複合化が明記される。

(5) 平成29年度

「石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館整備基本計画（教育委員会案）」の作成

ア 整備場所 現在の啄木記念館前の駐車場エリア

イ 整備手法 新築

ウ 施設規模 延床面積 1,500㎡程度

エ 概算事業費 約17億4,900万円（消費税等8%込み）

(6) 平成30年度

【市の庁内協議】

事業費と施設規模が過大であることから、整備手法を石川啄木記念館の大規模改修及び増築の方向に見直すこととなった。

施設の規模は、盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化の諸計画を踏まえ、現在の石川啄木記念館（旧記念館を含む。）、玉山歴史民俗資料館及び玉山小学校敷地内の民俗資料倉庫の床面積を合計した約 1,000㎡が上限とされた。

(7) 令和元年度

ア 建設方針及び基本計画（教育委員会案）の見直し

盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化の諸計画と、新市建設計画の予定事業費（約 8 億円）を踏まえ見直しを行った結果、変更後の基本計画（案）の概要は、次のとおりとする。

(7) 整備手法 新築→（見直し後）大規模改修及び増築

(1) 施設規模 延床面積 2,000㎡程度→（見直し後）約 1,000㎡

イ 見直し後の基本計画（案）の説明

(7) 令和 2 年 1 月 28 日 玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館基本計画策定懇話会
次のとおりの意見が出された上、了承される。

<意見>

- ・表示物などで、旧記念館の高台の眺望の活用を考えてほしい。
- ・啄木の詩の家をモデルとした建設当時のコンセプトを大事にして、増築を考えてほしい。
- ・どうやれば人を呼び込められるかという観光的な視点を踏まえて考えてほしい。

(1) 令和 2 年 2 月 24 日 市民説明会（渋民公民館）

<意見>

- ・大規模改修で是非ユニバーサルデザインを備えた施設の整備を望む。
- ・石川啄木記念館と玉山歴史民俗資料館の資料を一緒に収蔵するのは、空調管理等、問題もあると思われるので注意してほしい。

(8) 令和 2 年度

ア 令和 2 年 7 月 21 日 第 23 回盛岡市玉山地域振興会議

次のとおりの意見が出され、継続審議とされる。

<意見>

- ・当初、玉山歴史民俗資料館を延床面積約 1,000㎡で新築する案が、石川啄木記念館と合わせて 1,000㎡と縮小され、当初目指した歴史民俗資料館ができないことになる。
- ・評判のいい中庭が、増築で潰れると取り返しがつかないことになる。
- ・長い間、地域住民等と議論した基本計画（案）を評価する。市民部や観光担当の部署と連携し、新しい視点の施設を整備してほしい。

イ 令和2年9月29日 第24回盛岡市玉山地域振興会議

<答申内容>

次の意見を付して可とする。

記

玉山歴史民俗資料館の整備に当たっては、現在の中庭の面積をできるだけ確保した配置とすること。両施設の整備に当たっては、教育施設としての機能に加え、観光施設としても活用できる施設とすること。また、道の駅との連携に努めること。

なお、中庭については潰さずに整備を進めてほしい旨の意見もあったことから、その趣旨を踏まえながら整備を進めること。

<答申を踏まえた対応>

別棟の増築により減少する中庭の面積を確保するため、現在の景観に配慮しながら、可能な限り中庭を拡大し、再整備を行う。

3 今後の予定

令和2年12月1日～21日 パブリックコメント

令和3年1月末 基本計画策定